

富士河口湖町立 教育センターだより

No.16



平成28年11月9日 文責 遠山 榮子



県外講師による授業研究充実

本年度は、近年になく学力向上や授業改善に向けた外部講師による示範授業や講演が多くなされたように思います。当該学校・町内はもちろん、情報を聞きつけた他地域の先生方も多数参加し、講師の先生の示範授業や講演の一挙手一投足を見逃すまい、聞き漏らすまいと熱心に参加していました。2学期には、日々の積み重ねが豊かに結実してきているように思います。

* 5月17日(火) 河口小 菊池省三先生(元北九州市の小学校の先生) 5年国語の示範授業。ご授業と研究会をとおして「ほめる」こと、「価値語」を浸透させること、「書く指導」を充実させることの大切さを学ぶ。一年間、全職員で研究と実践を継続。

* 7月15日(金) 大石小 坪田耕三先生(小学校教諭・副校長、筑波大学教授を経て、現在青山学院大学教授) 5年算数の示範授業。示範授業のように、覚える算数ではなく、子ども達が「おやっ」と疑問を抱き、「どうしてだろう」と追究に夢中になる。そんな面白い授業、子ども達が楽しみながら考える力を伸ばす指導に近づきたいと考え、校内研に励んでいる。

* 10月26日(水) 小立小 桂 聖(さとし)先生(筑波大学附属小教諭) 5年国語・文学のユニバーサルデザイン示範授業。「特別な支援が必要な子を含めて、通常学級全員の子が楽しく学び、『わかる・できる』ことを目指す授業デザイン」であり、すべての子どもの学び合いや追究が保障され、通常学級の授業の質を一層向上させる大きな可能性があることを学ぶ。校内研究に新しい視点が投げられた。

* 11月25日(金) 河口小 菊池省三先生 6年国語「やまなし」示範授業予定。



この教育センターだよりをご一読していただくことにより、さらに研究の交流が図られるきっかけとなりました幸いです。また、このような情報がありましたらお知らせください。可能な限り教育センターも参加させていただきたいと思っております。

南都留地域教育フォーラム



11月4日(金)、「子どもたちの教育は地域全体で担う ～みんなで育む地域連携・地域交流～」のテーマのもと、南都留地域教育フォーラムが開催されました。下二小で全体会、下コミ、教育会館も含め、7つの分科会場で、提案・話し合いが行われました。教育センターでは、第5分科会の「地域を知り、発信する」テーマで、富士山教育にかかわる内容に、第6分科会の「子どもを支え育む」テーマで、ふじざくら支援学校の実践と相談支援員としての連携に、第7分科会は、「健やかな成長を支える」テーマで、子どもの貧困を考える講演にと、3つの分科会に分かれて参加しました。どの分科会も教育センターの取り組みに対し、これからの在り方をサジェストする内容でした。生かしたいと思っております。